

事業所名		あおぞら				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		13 日	
法人（事業所）理念		より良い地域社会を創生するための一助となる活動													
支援方針		SSTに基づいた療育													
営業時間		11 時		30 分から		17 時		30 分まで		送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・来所時のルーティン（挨拶、自分の靴や荷物を所定の場所に置く、手洗い、うがい、連絡帳を提出する、など） ・おやつ時間（水分補給をする、自分のお皿を片付ける、ゴミを捨てる、汚れた手を拭く、机を拭く、など） ・その他（おもちゃの片付け、上着の着脱、必要であれば排泄のサポート、など） これらを、デイの生活に即して日々行うことで、習慣づけていく。													
	運動・感覚	・運動…レクリエーションの中で、室内運動やリトミック（ダンスなど）を取り入れている。また、不定期で近所の体育館を借り、大きく身体を動かせる日を設けている。遊びやゲームの中で、自然に楽しく運動ができるよう取り組んでいる。また、ゲームを通して周りの人と協力することや勝ち負けを経験することができる。この時、スタッフが全体にルール説明を行うので、集団行動の中で全体への指示が出された時に、聞く姿勢を作る練習をする。 ・感覚…工作やカレンダー作りなどを通じて、粘土や紙など様々な材料に触れたり、ハサミやのりなどの道具を使ったりする等、感覚や手先の巧緻性を高めるレクリエーションを行っている。													
	認知・行動	・事前にスケジュールを明記し、視覚で確認することで見通しを立てて行動できるよう工夫している。 ・レクリエーションに参加しづらい方へのサポートとして、スタッフが本人と相談し、レクリエーションの一部から参加することで徐々に集団活動の中に入れるようにしている。 ・レクリエーションの始まりと終わりに「よろしくお願いします」「ありがとうございました」と挨拶をすることで、けじめをつけることができる。													
	言語コミュニケーション	・レクリエーションや自由遊びの中で、様々な年齢のお友達やスタッフと関わり、コミュニケーションを学ぶ。（例：おもちゃの貸し借りをする、一緒に同じおもちゃで考えながら遊ぶ、など）また、レクリエーションの中でことば遊びなどを取り入れ、遊びを通じて楽しく言葉を学ぶ機会を設けている。 ・事業所の中だけでなく、送迎中の車内などでのスタッフとの会話で、発音の練習を行う。 ・自分の気持ちを言葉にすることが難しい方へのサポートとして、言葉を覚えたり、イラストカードなどを用いたりして、感情を伝える練習を行う。													
	人間関係社会性	・レクリエーションの中でSSTを行う。スタッフが場面設定をして、その時自分はどのように行動すれば良いか、こども達自身に考えて発表してもらう場を設けている。 ・デイでの生活の中でその都度スタッフが本人と話し、人との適切な距離感や、遊びの中のルールを習得する。 ・お買い物練習などで、外部の人と関わる機会を設け、公共の場での行動や外部の人との関わり方を学ぶ。（例：店内では歩く、小さな声で話す、買う商品だけを触る、など） また、自分で電卓を使い計算したり、お金を支払ったりする練習を行う。													
家族支援		・家庭の中で本人と家族が目標にしていることを、デイの中でもサポートする。 例）荷物の整理整頓や部屋の片付け、曜日感覚を養う、など ・保護者会など、保護者同士の交流の場を設ける。						移行支援		・家庭、学校、デイで情報共有し、こどもが安心して通えるようにする。					
地域支援・地域連携		・学校や関係機関との連携 ・学童保育での情報を共有し、支援に活用する。 ・相談センターとの連携、関連機関合同での会議の実施。						職員の質の向上		・社内、社外研修 ・会議を通じてこどもについての情報を共有する。 ・委員会を設置し、情報を共有する。					
主な行事等		・季節行事（書初め、豆まき、ひなまつり、卒業・卒園パーティー、水遊び、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、その他季節に合わせた工作やおやつ作り） ・お出かけ（公園、工場や科学館などの施設見学、外食など） ・避難訓練 など													